セキュリティライト LSJ-2型

取扱説明書

保管用

お客様へ　このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（１ページ）を必ずお読みください。
この取扱説明書は大切に保管してください。
施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

注）この商品は人を検知して、フラッシングで人を威かくする機能を持っていますが、侵入、盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

工事店様へ　施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

必ず守る

●**ランプは器具表示のものを使用する**
間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。

●**異常を感じた場合、速やかに電源を切る**
異常状態が収まったことを確認し、販売店、工事店にご相談ください。

必ず守る

●**ランプの取り付けはランプパッキンが全周に当たるように確実に行う**
浸水による火災、感電の原因となります。

分解禁止

●**器具を改造したり、部品交換をしない**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

●**照明器具には寿命があります。設置して１０年経つと外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検、交換してください。**
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎１年に１回は「安全チェックシート」（Ｐ７）に基づき自主点検してください。

●**ランプ交換、お手入れの際は、電源を切る**
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

●**器具の取り外しは販売店、工事店に依頼する**
器具の取り外しには資格が必要です。

禁止

●**ＬＥＤを直視しない**
目の痛みの原因となることがあります。

●**器具に直射日光が当たる状態で点灯させない**
温度上昇によるランプの短寿命や一時的な明るさ低下、不点灯の原因となります。

接触禁止

●**点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない**
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

UZ286_201502A

各部のなまえとはたらき

各部のなまえ

固定ネジ

六角棒レンチ（対辺３mm）で固定ネジを緩めて、下記の範囲で照射方向を調整できます。

（注意）**１５°の範囲には動きません。**

３３０°

調整ツマミ

使い方に合わせて、調整してください。
（☞ ４～６ページ参照）

検知部

・周囲の明るさを検知する「明るさセンサ」と、人の動きによる温度変化を検知する「人センサ」が内蔵されています。
・全方向に約２０度動きます。
・連続点灯中は赤く点灯します。

●調整ツマミの設定はフランジカバーを外して行なってください

フランジカバーの取り付け・取り外しかた

フランジカバーは必ず取り付けて使用してください。
フランジカバーを外したまま使用すると水が浸入し、感電、故障の原因となります。

調節ツマミのはたらき

●「点灯する周囲の明るさ」ツマミ

周囲がどれくらい暗くなったら、「昼間の動作」から「夜間の動作」に切り替えるかを調整します。

・右に回すほど、明るいうちから動作するようになります。
・昼間など明るいうちから動作させたい場合は、「⌒」の表示の範囲でご使用ください。

注）右いっぱいに回すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。
人が検知範囲から外に出てから約５秒後に消灯し、検知範囲を確認するときのテストモードとなります。

●「フラッシュ開始時間」ツマミ

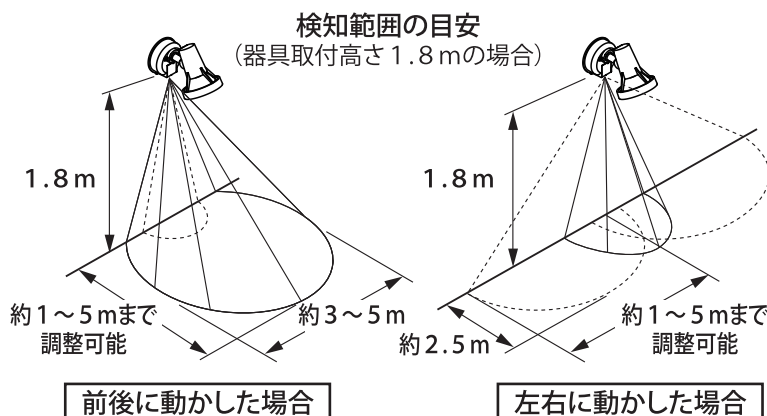
防犯すぐモード、防犯設定時間後モード（☞ ３，４ページ参照）で使用時、検知範囲に人が入って、どれくらい経ってから照明をフラッシングさせるかを調整します。

・ **「すぐ」、「１０」秒後、「３０」秒後から選べます。**

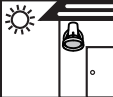
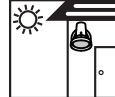
ON/OFFモード（☞３，５ページ参照）で使用するときは「切」に設定します。
明るさセンサモード（☞３，５，６ページ参照）で使用する場合は「明るさセンサ」にします。

センサの検知範囲

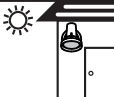
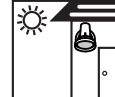
●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約２０度動きます）
●器具の取付高さ１.８ｍ（標準）～３ｍの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安
（器具取付高さ１.８ｍの場合）

ご注意

●この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。
また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
●検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取付高さや傾きなどにより変化します。
●夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
●センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

使いかた

センサによる点灯

●壁スイッチは常時ＯＮで使用してください。センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
●ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、器具本体に内蔵している調整ツマミを設定してください。センサによる点灯動作は、「防犯すぐモード」、「防犯時間設定後モード」、「ＯＮ/ＯＦＦモード」、「明るさセンサモード」４種類のいずれかから選べます。

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯に使いたい

防犯すぐモード の動作説明

調整ツマミの設定方法 ☞ **4ページ**

周囲が明るいとき 昼間の動作

昼間、明るいときは消灯

人が近づくとすぐにフラッシング

約１０秒間フラッシングした後、消灯（**注１**）

周囲が暗いとき 夜間の動作

消灯 ＞ 人が近づくとすぐにフラッシング ＞ 約１０秒間フラッシングした後、点灯したままに ＞ 人がいなくなって約１分後、消灯

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯に使いたい

防犯設定時間後モード の動作説明

調整ツマミの設定方法 ☞ **4ページ**

周囲が明るいとき 昼間の動作

昼間、明るいときは消灯

人が近づいても照明は消灯のまま（検知部が赤く点滅） ＞ 人が約１０秒間、または約３０秒間、検知範囲内で動き続けるとフラッシング（**注２**） ＞ 約１０秒間フラッシングした後、消灯（**注１**）

周囲が暗いとき 夜間の動作

消灯

人が近づくと照明が点灯

人が約１０秒間、または約３０秒間、検知範囲内で動き続けるとフラッシング（**注２**）

約１０秒間フラッシングした後、点灯したままに

人がいなくなって約１分後、消灯

（注１）人がいなくなって約１分間経過しないと、次回の警告動作を開始しません。
（注２）検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままでいる場合にはフラッシングを開始しません。

照明をフラッシングさせないで、普段の生活の明かりとして使いたい

ＯＮ/ＯＦＦモード の動作説明

調整ツマミの設定方法 ☞ **5ページ**

昼間、明るいときは消灯

周囲が暗くなっても人がいないときは消灯

人が近づくと点灯

人がいなくなって約１分後、消灯

まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

明るさセンサモード の動作説明

調整ツマミの設定方法 ☞ **5，6ページ**

昼間、明るいときは消灯

周囲が暗くなると自動的に点灯

暗い間は人がいてもいなくてもずっと点灯

人がいないときも点灯したままにする（連続点灯）

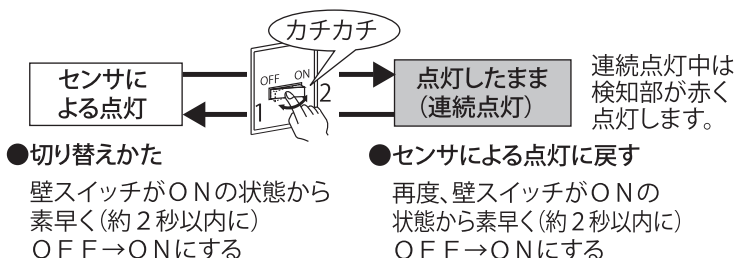
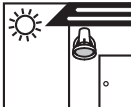
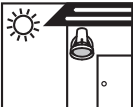
センサによる点灯 → カチカチ（OFF ON 1 2） → 点灯したまま（連続点灯）

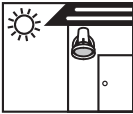
連続点灯中は検知部が赤く点灯します。

●切り替えかた

壁スイッチがＯＮの状態から素早く（約２秒以内に）ＯＦＦ→ＯＮにする

●センサによる点灯に戻す

再度、壁スイッチがＯＮの状態から素早く（約２秒以内に）ＯＦＦ→ＯＮにする

（メモ）
●周囲が暗いときだけ、点灯状態を切り替えることができます。
●連続点灯のままにしていても、朝になって周囲が明るくなると自動的に消灯します。再び暗くなるとセンサによる点灯に戻ります。
●日中も暗い場所や天候の影響で周囲が暗い場合、朝になっても消灯しないことがありますが、最長１５時間でセンサでの点灯に戻ります。
●約２秒以内の短い停電が起こった場合には、意図せず点灯状態が切り替わることがあります。
●周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約２時間は消灯しません。
消灯させる場合は一旦壁スイッチをＯＦＦにしてください。

調整ツマミを設定する　防犯すぐモード、防犯設定時間後モードで使う場合

普段、家族があまり通らない暗がりや家の死角の防犯に使いたい

➡ **防犯すぐモード**の動作説明

周囲が明るいとき　昼間の動作

昼間、明るいときは
消灯

人が近づくとすぐに
フラッシング

約１０秒間フラッシング
した後、消灯（**注１**）

周囲が暗いとき　夜間の動作

消灯

人が近づくとすぐに
フラッシング

約１０秒間フラッシング
した後、点灯したままに

人がいなくなって
約１分後、消灯

家族が行き来する屋外や勝手口などの防犯に使いたい

➡ **防犯設定時間後モード**の動作説明

周囲が明るいとき　昼間の動作

昼間、明るいときは
消灯

人が近づいても照明は
消灯のまま
（検知部が赤く点滅）

人が約１０秒間、または約３０
秒間、検知範囲内で動き続ける
とフラッシング（**注２**）

約１０秒間フラッシング
した後、消灯（**注１**）

周囲が暗いとき　夜間の動作

消灯

人が近づくと照明が
点灯

人が約１０秒間、または約３０
秒間、検知範囲内で動き続ける
とフラッシング（**注２**）

約１０秒間フラッシング
した後、点灯したままに

人がいなくなって
約１分後、消灯

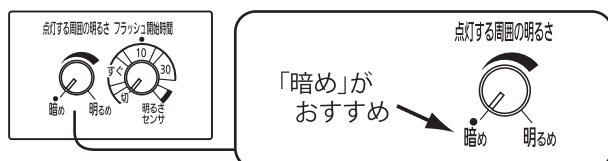
（注１）人がいなくなって約１分間経過しないと、次回の警告動作を開始しません。
（注２）検知範囲内を人が素早く通り過ぎたり、静止したままでいる場合にはフラッシングを開始しません。

調整ツマミの設定方法　以下の手順で設定してからご使用ください

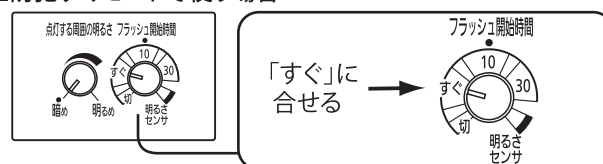
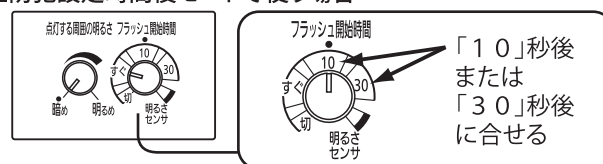
1 壁スイッチをＯＦＦにする

2 フランジカバーを取り外す

☞ ２ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミで **どれくらい周囲が暗くなったら、「昼間の動作」から「夜間の動作」に切り替えるか**を設定する

●明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちから「夜間の動作」になります。
（注）右いっぱいに回した状態で使用しないでください。
「防犯すぐモード」、「防犯設定時間後モード」が正常に動作しません。

4 「フラッシュ開始時間」ツマミで **検知範囲に入って、どれくらい経ってから照明をフラッシングさせるか**を設定する

■防犯すぐモードで使う場合

■防犯設定時間後モードで使う場合

「１０」秒後
または
「３０」秒後
に合せる

5 フランジカバーを取り付ける

☞ ２ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

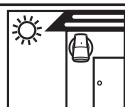
6 壁スイッチをＯＮにする

➡ 壁スイッチをＯＮにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約４０秒間点灯します。

●壁スイッチは、常時ＯＮでお使いください。

調整ツマミを設定する　ON/OFFモードで使う場合

照明をフラッシングさせないで、普段の生活の明かりとして使いたい

➡ **ON/OFFモード**の動作説明

昼間、明るいときは
消灯

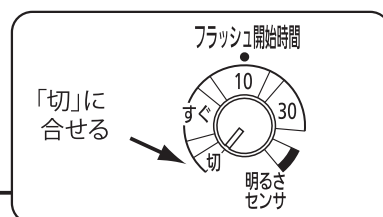
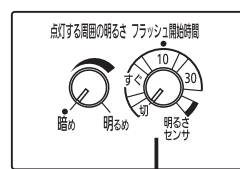
周囲が暗くなっても
人がいないときは消灯

人が近づくと点灯

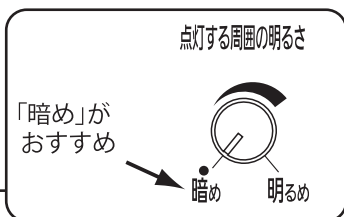
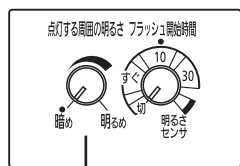
人がいなくなって
約１分後、消灯

調整ツマミの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをＯＦＦにする

2 フランジカバーを取り外す

☞ ２ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミで **どれくらい周囲が暗くなったら、人が近づいたとき点灯させるか**を設定する

●明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちから人が近づいたときに点灯します。
●右方向いっぱいに回すと、明るさに関係なく人が近づいたときに点灯します。

4 「フラッシュ開始時間」ツマミで **「切」**に設定する

5 フランジカバーを取り付ける

☞ ２ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

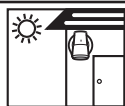
6 壁スイッチをＯＮにする

➡ 壁スイッチをＯＮにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約４０秒間点灯します。

●壁スイッチは、常時ＯＮでお使いください。
●周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約２時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをＯＦＦにしてください。

調整ツマミを設定する　明るさセンサモードで使う場合

まわりが暗い間はずっと点灯させて使いたい

➡ **明るさセンサモード**の動作説明

昼間、明るいときは
消灯

周囲が暗くなると
自動的に点灯

暗い間は人がいても
いなくてもずっと点灯

調整ツマミの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをＯＦＦにする

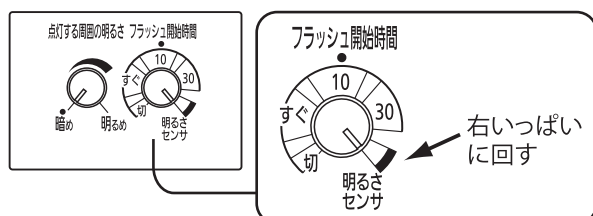
2 フランジカバーを取り外す

☞ ２ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

UZ286_201502A

調整ツマミを設定する　明るさセンサモードで使う場合(つづき)

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミで **どれくらい周囲が暗くなったら、点灯が始まるか**を設定する

●明るめ(右方向)に回すほど、明るいうちから点灯します。
(注)右いっぱいに回した状態で使用しないでください。「明るさセンサモード」が正常に動作しません。

4 「フラッシュ開始時間」ツマミを **右いっぱいに回し「明るさセンサ」**に設定する

5 フランジカバーを取り付ける

☞ 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

6 壁スイッチをＯＮにする

➡ 壁スイッチをＯＮにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約４０秒間点灯します。

●壁スイッチは、常時ＯＮでお使いください。
●周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約２時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをＯＦＦにしてください。

お手入れ・ランプ交換　電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的(６ヵ月に１度程度)に清掃をしてください。
●汚れがひどい場合は、石けん水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認　シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

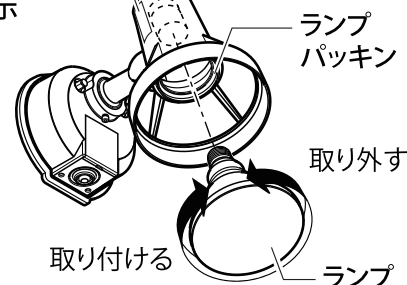
●ランプの明るさが低下すると、ランプの寿命です。ランプを交換してください。
●パナソニック製ランプをお買い求めください。
●ランプの種類は器具に表示しています。
白熱灯は使用できません。

⚠ 警告

必ず守る

ランプの取り付けはランプパッキンが全周に当たるように確実に行う
浸水による火災、感電の原因となります。

メモ
ランプパッキンとランプの接触部を少しめくるようにすると比較的簡単にランプが外せます。

ランプの交換方法

ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●ＬＥＤにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。
●非常に短い停電があると点灯状態が変わる場合があります。
●周囲が明るい時にセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサから手を離しても、点灯状態から約２時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦スイッチをＯＦＦにしてください。

【壁スイッチについて】

●通常のご使用では、設定後は壁スイッチをＯＮにしたままにしてください。
●壁スイッチを一旦ＯＦＦにしても、再びＯＮにすると、ＯＦＦ前の点灯モードになります。
但し、連続点灯の場合は、連続点灯の設定になります。

仕様　付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流	付属ランプ	使用環境
ＡＣ１００Ｖ	５０/６０Ｈｚ共用	１３.０Ｗ (センサ待機時０.３Ｗ)	０.２１５Ａ	LED電球 ハイビーム電球タイプ１３.０Ｗ(Ｅ２６)	屋外用

●ＬＥＤ照明器具の光源寿命は、４０,０００時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の７０%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

●〈照明器具〉安全チェックシート●

※チェック欄が足りない場合はコピーしてお使いください。

	安全点検項目	点検結果（該当には○）					処置手順
		／	／	／	／	／	
このような症状はありませんか	1. スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。						○印があるときは危険な状態になっていますので使用を中止し故障や事故の防止の為お取り替えをおすすめします。
	2. プラグ、コードや本体を動かすと点滅する。						
	3. プラグやコードなどが異常に熱い。						
	4. こげくさい臭いがする。						
	5. 点灯させたときに漏電ブレーカが動作することがある。						
	6. コード、ソケット、配線器具に傷みやひび割れ、変形がある。						
	1. 購入後、10年以上経過している。						○印があるときはお買い上げ店にご相談ください。
	2. ランプを交換しても点灯するまで時間がかかる。						
	3. カバーなどに変色・変形がある。						
	4. 塗装面にふくれ、ひび割れがある。または錆が出ている。						
	5. 器具取付部に変形・ガタツキ・ゆるみなどがある。						

上記点検項目以外でも不具合があれば、販売店等の専門家にご相談ください。

故障かな?と思ったら　下記の点検をお願いします

●異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。

症　状	考えられる原因	処　置	参照ページ
各モード共通			
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯(またはフラッシング)しない	壁スイッチがＯＦＦになっている	壁スイッチをＯＮにする。	——
	ランプが切れている	ランプを交換する。	６ページ
	人が静止している	故障ではありません。 静止している人は検知しません。	２ページ

UZ286_201502A

故障かな?と思ったら　下記の点検をお願いします

症状	原因	処置	参照
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯(またはフラッシング)する(検知部は赤く点灯していない)	検知範囲に人以外の熱源がある例)エアコンの吹き出し口、風などでよく揺れるもの、車の熱やヘッドライト、動物、雨、雷など	故障ではありません。センサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、人以外の熱源でも点灯(またはフラッシング)することがあります。	2ページ
センサの検知範囲に人がいないのに照明が点灯(またはフラッシング)する(検知部は赤く点灯している)	電源を投入した直後である	故障ではありません。電源を投入した直後、約40秒間は必ず点灯します。	——
	停電から回復した直後である		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している(検知部が赤く点灯している)	壁スイッチを意図せず操作して、連続点灯に切り替わっている	壁スイッチを素早くOFF→ON(約2秒以内)にすると、センサでの点灯に戻ります。(検知部が赤く点灯しているのが消えます)	3ページ
	短い停電により、意図せず連続点灯に切り替わっている		
人が近づいても検知しにくい	検知範囲が適切ではない	検知範囲を調節する。	2ページ
	検知部に汚れや水滴などが付着している	検知部をやわらかい布などで拭く。	6ページ
	検知しにくい条件となっている	故障ではありません。	2ページ
点灯保持時間が短い	点灯する周囲の明るさ調整ツマミが明るめ右いっぱいになっている	ツマミを一旦左いっぱいに回して右いっぱいの位置以外で使用する	2ページ

防犯すぐモードで使用している場合

症状	原因	処置	参照
一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	——
周囲が明るいのに人が近づくとフラッシングする	故障ではありません。「防犯すぐモード」で使用している場合は、周囲が明るいときも人が近づくとフラッシングします。		4ページ

防犯設定時間後モードで使用している場合

症状	原因	処置	参照
検知範囲を人が通ったのに照明がフラッシングしない	検知範囲を素早く通り過ぎた	故障ではありません。検知範囲を素早く通り過ぎた場合は、設定時間を過ぎても、照明はフラッシングしません。	4ページ
一度フラッシングした後、検知範囲内で人が動き続けても、照明がフラッシングしない	フラッシングした後も、検知範囲内に居続けた	故障ではありません。一度フラッシングすると、一旦検知範囲から外に出て、約1分間経過しないと、再びフラッシングしません。	——
周囲が明るいのに人が近づくとフラッシングする	故障ではありません。「防犯設定時間後モード」で使用している場合は、周囲が明るいときも設定時間、器具の検知範囲内で動きつづけるとフラッシングします。		4ページ

ON／OFFモードで使用している場合

症状	原因	処置	参照
周囲が明るいのに人が近づくと照明が点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」の方向に回す。	5ページ
センサの検知範囲に人がいるのに照明が点灯しない	点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」の方向に回す。	5ページ

明るさセンサモードで使用している場合

症状	原因	処置	参照
周囲が明るいのに点灯する	点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」の方向に回す。	5，6ページ

●処置した後に正常に戻らない場合は、いったん電源を切り約10秒以上経ってから再び電源を投入してみてください。

それでもなお異常がある場合は、必ず電源を切り、販売店、工事店、別紙ご相談センターにご相談ください。

取説コード
UZ286

201502A_1009